

教育と文化

肥前窯業圏が培ってきた歴史と価値

日本遺産シンポジウム in 伊万里

2月25日、『日本遺産シンポジウム in 伊万里』が立花公民館でありました。これは、日本遺産に認定された『日本磁器のふるさと 肥前』の歴史と文化に対する理解を深め、地域活性化へ生かそうと、市と『肥前窯業圏』活性化推進協議会が開催したものです。

基調講演では、鈴木由紀夫さん（県立九州陶磁文化館館長）が、窯業圏の歴史を解説。窯業圏の磁器は陶器生産が下地となつて始まつたことなどが紹介されました。

基調講演のあとにはパネル

ディスカッションが行われ、若者に歴史に興味を持ってもらうためのアイデアなど活発な意見が交わされました。



↑肥前窯業圏の今後の展望などを討議したパネルディスカッション

市民図書館開館22年目の快挙

11,111,111,111冊目を貸し出し

3月18日、市民図書館の貸し出し冊数が11,111,111,111冊に到達しました。記念となる本を借りたのは、大坪小学校2年（3月18日現在）の前原太郎さん（つつじヶ丘）。市民図書館の杉原あけみ館長から前原さんに、記念証が贈られました。



↑「記念証をもらってうれしい」と話す前原さん

郷土の文化財

日本遺産シリーズ①

●問合先 生涯学習課文化財（☎3186）

日本磁器のふるさと 肥前

「百花繚乱の焼き物散歩」

平成28年4月に『日本磁器のふるさと 肥前』が日本遺産に認定されました。日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。

そのストーリーを語る上では、魅力あふれる有形や無形のさまざまな文化財群が欠かせません。これらを地域が主体となつて総合的に整備・活用し、国内外へ発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

地域に点在する文化財を個々に活用するのではなく、地域固有の歴史ストーリーに関係する文化財群を、一体的に活用して地域活性化に役立てます。

今回の日本遺産は、佐賀

県と長崎県が連携しています。佐賀県側では伊万里市を含む4市1町と長崎県側の2市1町にまたがる『肥前窯業圏』として、陶磁器の歴史的・文化的魅力を発信することになります。

市内にあるストーリーを構成する要素としては、陶磁器窯跡や大川内山、旧犬塚家住宅（現陶器商家資料館）、伊万里神社にある旧戸渡嶋神社の灯籠などがあります。



↑ストーリーの構成文化財の一つである大川内山